

「放送セミナー」プログラム

開催日時：令和7年10月31日（金） 13時30分から16時40分まで

開催場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 ホール6 B（仙台市青葉区花京院1-2-15）

時 間	プログラム	概要 演題・講師
13:00～		受 付
13:30 ～13:35	開 会	主催者挨拶 総務省 東北総合通信局長
13:35 ～14:00	表彰式	第58回受信環境グリーン図案コンクール表彰式 東北受信環境グリーン協議会受賞表彰 「最優秀賞」（1名）及び「優秀賞」（2名） 東北受信環境グリーン協議会会長より表彰状の授与 受信障害グリーン図案コンクール東北審査会委員長より講評
14:00 ～14:15	休 憩	
14:15 ～15:05	講演 1	演題：「インフォデミック時代におけるフェイクメディア克服の最前線」 講師：国立情報学研究所 研究主幹・教授 越前 功 氏 講師経歴： 国立情報学研究所 情報社会相関研究系 研究主幹・教授。同研究所 シンセティックメディア国際研究センター長。東京大学大学院情報理工学系研 究科 教授。2025 年 文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）受賞 講演概要： 顔、音声、身体、自然言語などの人間由来の情報を AI が学習し、本物と 見紛うシンセティックメディアの生成が可能になりました。シンセティックメディアは、 コミュニケーション分野やエンターテインメント分野など様々な用途で活用されていま す。一方で、シンセティックメディアの負の側面として、詐欺や思考誘導、世論操 作を行う目的で、フェイク映像、フェイク音声、フェイク文書といったフェイクメディア を生成、流通させる事例が発生しており、社会に恐怖や混乱を引き起こす不確 かな情報の氾濫「インフォデミック」が生じています。本講演では、このようなフェイ クメディアによる脅威を概説するとともに、最新の研究成果について紹介します。
15:10 ～16:00	講演 2	演題：放送技術の歴史と将来展望について 講師：NHK 放送技術研究所 伝送システム研究部・研究主幹 今村 浩一郎 氏 講師経歴： 1994 年 NHK 入局。長崎放送局、放送技術研究所、名古屋放送局、 技術局を経て、2016 年より放送技術研究所。番組制作や番組送出などの 現場業務をはじめ、地上デジタル放送の信号補償器の研究、テレビやラジオの 送信設備整備、番組素材の無線伝送技術の研究、放送通信融合サービスの 研究などの業務に従事。2025 年 7 月から現職。 講演概要： 放送開始 100 年を迎えラジオ放送から 4K8K 衛星放送までの放送技術に 関する研究開発のこれまでの歴史と ISDB-T3 など次世代地上放送に向けた 現在の動向、NHK 技研が描く放送の未来をご紹介します。

時 間	プログラム	概要 演題・講師
16:05 ～16:35	講演3	演題：放送行政をめぐる状況（デジタル時代における放送制度） 講師：総務省情報流通行政局 放送政策課 統括補佐 澤谷 航 講師経歴： 2011年総務省入省。地上放送課課長補佐、総務副大臣秘書官、大臣官房企画課課長補佐等を経て、2025年7月から現職。 講演概要： 総務省においては、「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する検討会」を開催し、デジタル化が社会全体で急速に進展する中で、放送の将来像や放送制度の在り方について、中長期的な視点から検討を行っています。今回は同検討会における現在の検討状況についてご紹介します。
16:35 ～16:40	閉 会	主催者挨拶 東北情報通信懇談会 放送メディア委員会委員長